



# 桶川東中だより

☆☆令和3年度☆☆

桶川東中学校通信 No.10 発行：2月7日（月）

## 「春を待つ心」 蓄えた力が発揮されるとき

校長 矢澤 等

2月4日は立春でした。立春は春の気が立つという意味ですが、実際には1年のうちで最も寒い時期とも言われています。しかしながら、校舎に差し込む日の光は日ごとに力強さを増しているようです。葉を落とした校地内の梅や桜の木々に目を向けてみると、枝先にふくらみつつあるつぼみが着実に大きくなっているように感じます。我々には気づかない、地中の根や幹の中で蓄えられた力が、もう少しで目に見える形となることなのでしょう。長い冬が終わり春を待ち焦がれる、そんな季節になりました。

同じ立春の日には、2022北京冬季オリンピックの開会式が行われ、冬のスポーツの祭典が開幕しました。アスリートにとっての4年間は、どんな時間であったのか、私たちには想像することもできません。おそらく、選手本人や指導者にとっては、地道に力を蓄え、本番でそれを発揮するための長い長い準備期間であったのではないのでしょうか。連続出場を果たした選手にとっては、前回の経験を踏まえて、更なる飛躍を目指して取り組んできた時間なのでしょう。初出場の選手は、国内で代表権を勝ち取りながら、世界で戦える力を身に付け自らを高めてきた時間なのだと思います。ぜひ、選手本人が望む結果を残せるように、持てる力を悔いなく発揮してもらいたいです。

学校においても、3学期のまとめの時期となり、各学年で身に付けた力を発揮したり、確認したりする段階となりました。1, 2年生にとっては、楽しみにしていた学校行事が、延期・中止となってしまいましたが、生徒自身が時間やきまりを意識して学校生活を送る姿や、授業や諸活動に目的意識を持って臨む姿、仲間を大切にし周囲の方に感謝する気持ちの表し方などから、1年間の成長を見て取ることができます。3年生は、自分自身の力でしっかりと進路を決めてくれるよう期待しています。

厳しい寒さの後には、温かくて穏やかな春が訪れます。個々の生徒がしっかりと蓄えてきた力を発揮する 때가やってきます。地道な努力や、困難を乗り越えた経験は、確実に皆さんの力となっていることでしょう。

### 2月の生活目標

☆落ち着いた態度で生活しよう。  
健康管理に努めよう。

### 重点目標

○手洗い、うがい、消毒の励行

